



眠れる獅子が吠えた、ホッシー無冠を返上!

狭山水村惜しくも初優勝を逸す、子どもはグッチ、女流は池ママが獲得

“こういう良い季節はすぐ終わっちゃうんだよね” スギ花粉の猛威がおさまり、笑顔がもどったトシ田口がつぶやく。時折射す陽光が緑を色づかせる七軒家公園で、5月22日(日)第三期角六王戦を開催した。春日部きみのり君が久しぶりに元気な顔を見せてくれた。入間市の田岡さん、徳丸のレオ君が初参戦。徐々に腕前を上げていきましょう。

名人戦の順位が目まぐるしく変わる。トップの松ちゃんが4位に後退、代わりに Mr.高橋がトップに躍り出る。2位ハルク大竹、3位釣人今村も好調だ。子どもは篠ヒデが1位を堅持するが、篠ケンが勝点23ゲットでいきなり2位に上がってきたゾ。女流は池ママが17点ゲットで1位 Mrs.高橋に3点差まで迫ってきた。トップ10落ちしたトシ田口、優勝ラインを勝点120とすると、残り平均3.7はちときつか。

昼食の後は「第三期角六王戦」だ。“取りたいな一角六王”、ため息混じりに言っていたハルクだが、その思いは予選の壁に阻まれた。その予選を突破したのは、グッチ、ダイゴ、ヒロナオ、篠ケン、キイチ、ツッチー、マサキ、篠ヒデの子ども8名と、釣人今村、ホッシー、トシ田口、池ママ、六角渡部、きみのり、狭山水村、並木姉御の8名。前回チャンピオン松ちゃんもミスターも中島名人もカイチョーもここにはいない。それだけ実力が伯仲してきたということだろう。苦しんだキイチだが、ラストで飛ばし勝ちを決め決勝進出、ここ一番の強さを見せ付ける。床はずし負けの誰かとは大違いです。

成長したきみのりが帰ってきた。ヒロナオ、池ママを撃沈し準決勝へ駒を進める。これを迎え撃つのはマサキとグッチを破ったホッシーだ。数回の引き分けの後、ホッシーがようやくこれを押さえ決勝3番勝負へ。一方、ダイゴ、トシ田口を破り準決勝へ進んだ狭山水村が、篠ケン、釣人今村を破った



池ママ、グッチ、ホッシー おめでとう!



シリーズ 田口コレクション 2018



大正時代に作られた角六ボールシリーズ。当時から作られた角六の種類は多い。角六なのに丸ペーはめずらしい。6種類のイニシャルが見えるかな。

六角渡部を迎える。低い六角ペチャの強烈なハジキをこらえ、水村は初の決勝3番勝負に挑む。ホッシーVS水村、投げ入れられた両者のペーが火花を散らす。どちらもこらえりキ戦に、これをホッシーが制してまず1勝。日本一など数々の栄冠を手にしてしているホッシーがあとひとつ、これに勝てば念願の初タイトルだ。しかし狭山へソペーがハジキ一発、ホッシーペーを叩き1対1のタイに持ち込む。上気する二人の顔、ここで下手なジョークは禁物だ。ツッチのチッ! 審判の掛け声に二人の腕がしなる。パチーン、あっと観衆が息を呑んだ瞬間、狭山へソペーが弾かれ宙を舞う。第三期角六王の誕生だ。シャイなホッシーが照れ笑いを浮かべる。梢を揺らした強風はいつの間にか過ぎ去り、木漏れ日が初夏の暖かさを運んでいた。